

環境ホルモンアッセイシステムシリーズ

女性ホルモン作用を示す環境ホルモンの簡便なプレスクリーニングに

Amersham Vitellogenin ELISA System

ビテログニン ELISA 測定システム

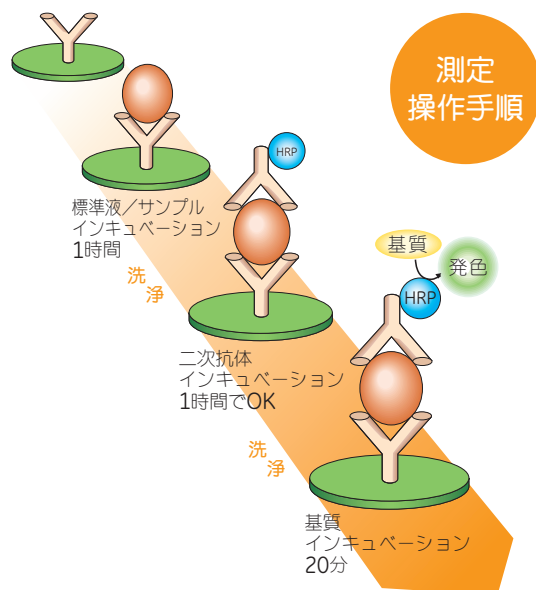
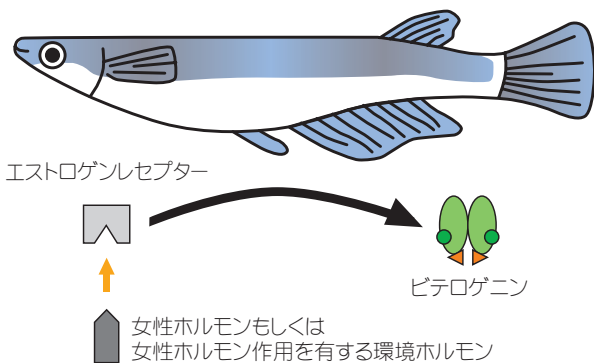
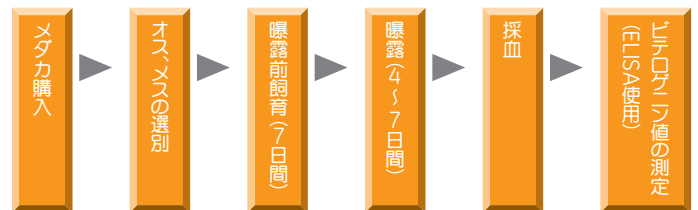
環境ホルモン（内分泌攪乱化学物質）により、生態はさまざまな影響を受けています。

オスメダカのメス化もそのひとつで、女性ホルモン作用を有する環境ホルモンがエストロゲンレセプターに結合することにより、本来メス特有のタンパク質であるビテログニンの血中濃度の顕著な上昇がオスメダカに見られます。

本製品はビテログニンをバイオマーカーとして、メダカの血漿中のビテログニンを ELISA 法で簡便に測定することができるので、多検体試料のプレスクリーニングに最適です。

- アッセイはわずか 3 時間で終了
- デュプリケートで最大 40 サンプルを一度に測定可能
- 血漿サンプルの測定が可能
- プレートは 16 ウェル(2 列) ずつ取り外せるので、分割使用も可能
- 測定レンジ : 2.0 ~ 100 ng/ml

アッセイ概略



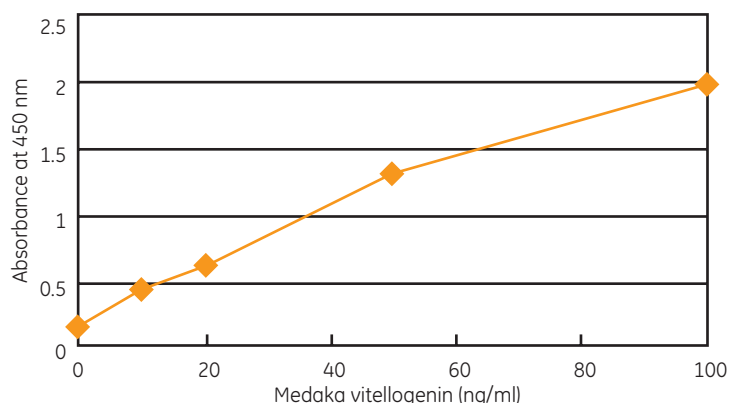
反応停止
プレートリーダーによる
吸光度測定 (450 nm)



GE imagination at work

Vitellogenin ELISA System

標準曲線

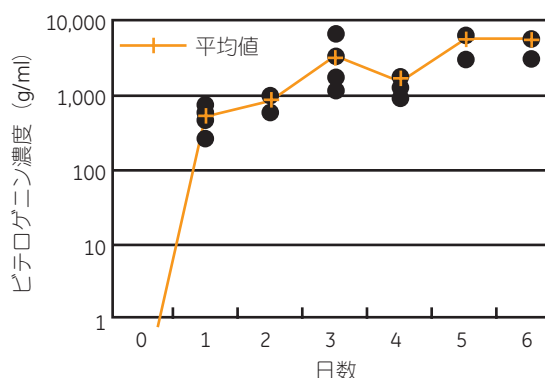
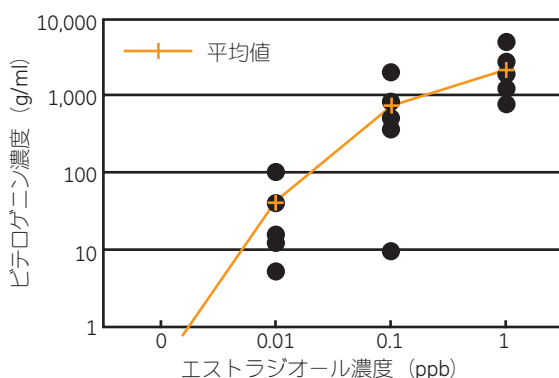


オスメダカ・血中ビテロゲニン

n	µg / ml
1 ~ 33	0
34	0.16
平均値	0.005

オスメダカビテロゲニン正常値

清浄水で1週間飼育した34匹のオスメダカの血清ビテロゲニン濃度を測定した結果、33匹がメダカビテロゲニン ELISA アッセイの測定限界 (2 µg/ml) 以下の値を示しました。



エストロジオール曝露実験

オスメダカ6匹ずつを、0.01 ppb、0.1 ppb、1 ppbの3濃度のエストロジオールに1週間曝露し血中ビテロゲニン濃度を測定しました。0.01 ppb 曝露で、有意に血中ビテロゲニン濃度が上昇していることがわかりました。

エストロジオール曝露経時変化

オスメダカ4匹ずつを1群とし、1 ppb エストロジオールに曝露後1週間にわたり毎日血中ビテロゲニン濃度を測定しました。曝露3日以降にビテロゲニン濃度の平均値が1 mg/ml 以上になることがわかりました。

■ご注文情報

製品名	包装	コード番号
Vitellogenin Medaka ELISA System	96 wells	RPNJ410

※ 本製品は株式会社エンバイオテック・ラボラトリーズとの提携により開発されました。

www.gelifesciences.co.jp

e-mail で最新情報をお届けしています。お申込みは左上 Web サイト左下の「メールマガジン購読」から

© 2014 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 本書の全部または一部を無断で複製することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

掲載されている製品は試験研究用以外には使用しないでください。掲載されている内容は予告なく変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。

掲載されている社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせに際してお客さまよりいただいた情報は、お客さまへの回答、弊社サービスの向上、弊社からのご連絡のために利用させていただく場合があります。

販売 **GEヘルスケア・ジャパン株式会社**

ライフサイエンス統括本部

〒169-0073

東京都新宿区百人町 3-25-1 サンケンビルチング

お問合せ：バイオダイレクトライン

TEL: 03-5331-9336 FAX: 03-5331-9370

e-mail: Tech-JP@ge.com



Intertek

ISO 9001:2008
認証取得

製造 **藤倉化成株式会社**

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル